

コロナウイルスに立ち向かい核兵器のない公正な世界を

5月23日（土）平和大行進宣伝カーは和歌山市庁舎前を走り出しました。



楠見和歌山市実行委員長



宣伝カーはけやき通りを走る



送り出しの挨拶をする茂野県平和行進実行委員長

5月23日（土）快晴、夏の日差しです。平和行進宣伝カーは、和歌山市を走ります。午前10時、和歌山市教育会館で宣伝カーに横断幕とデコレーションを飾ります（事前に、和歌山市議会議長よりペナントと協賛金のご協力を頂いています）。和歌山市では、毎年年末、年始に原爆写真展を2回ロビーで開催しています。夏には、平和のビデオ上映にも取り組んでいます。（和歌山市原水協の要求が実現したものです。）

宣伝カー出発の前に、市庁舎前で各団体の代表より見送り頂くことにしました。県平和行進実行委員会の茂野実行委員長より「今年は、コロナ禍でオンライン世界大会になること、和歌山でのヒバクシャ国際署名が7万3千人分を超えていること、早期に核兵器禁止条約を発効させるため世論を広げよう」と平和行進宣伝カーへの激励の言葉、市平和行進実行委員会の楠見実行委員長からエールを頂きます。宣伝カーは、参加者の激励拍手で見送られて、けやき通りへと走り出しました。宣伝カーの運行は、市民生協労組の阿波さんです。けやき通りを東にJR和歌山駅まで走り、往路は、教育会館まで平和行進のアナウンスを行いました。

和歌山市まで県内20市町村を宣伝カーはつないできました。「私たちは“ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！”“核兵器のない世界を”と核兵器の廃絶を訴えて歩く、平和行進 宣伝カーです。今、必要なのは、争いではなく世界中の協力、武器よりも薬、兵士よりも医療です。」と訴えています。これまで17名の首長、議長1名より激励のペナントを預かりました。

平和行進宣伝カーは、27日（水）に西牟婁郡すさみ町へと入ります。

県事務局



JR和歌山駅前 宣伝カー